

大鷲小学校・小林小学校が開校

新たな伝統は私たちがきぎずいていきます

継続事業で工事を進めていた大鷲小学校、小林小学校が完成し、四月五日、喜びの開校式が行われました。

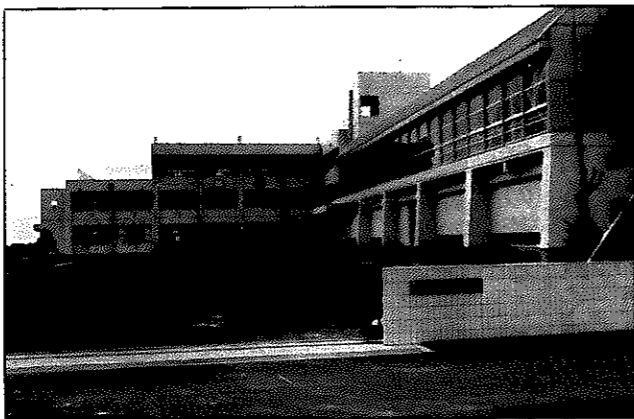
大鷲小学校は大郷小と鷲巻小、小林小学校は小林小と戸頭小との統合校。両校とも、児童数の減少や校舎の老朽化などから統合し、建設されたものです。現在、大鷲小学校は十一学級で児童数は三百十三人。小林小学校は六学級で児童数は二百六人です。

新校舎は、全校児童と先生が一緒に会食できる食堂が設けられているのが大きな特徴です。また、この食堂は多目的に利用できるようにと、広くスペースがとられています。体育館やグラウンドも広く、校舎も自然光を十分に取り入れ、ゆったりしています。特別教室も充実しています。

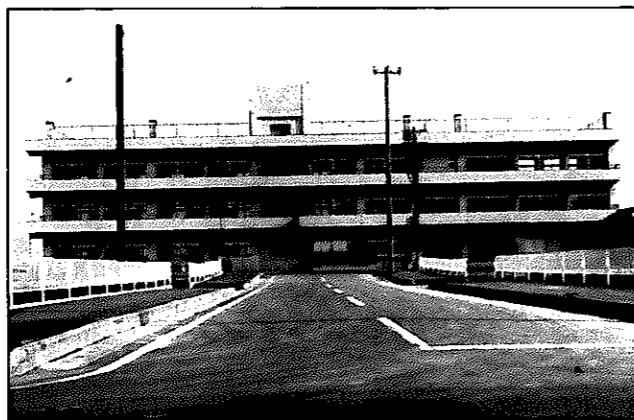
「新たな伝統は、これから私たちがきぎずいていきます」と、子供たちは勉強にスポーツにがんばっています。



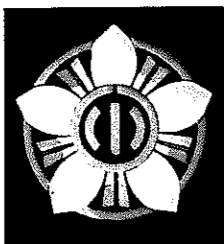
昼食は食堂に全校児童が集まって食べるから、楽しく、おいしい(大鷲小学校で)



▲大鷲小学校 55年・56年・57年度の3か年継続事業。総事業費9億1,257万円。敷地面積20,205平方メートル。延べ床面積4,694平方メートル。グラウンド1周200メートル。



▼小林小学校 56年・57年度の2か年継続事業。総事業費8億1,520万円。敷地面積(運動広場含む)20,572平方メートル。延べ床面積3,240平方メートル。グラウンド1周200メートル。



大鷲小学校

校章



小林小学校

穀倉地帯の真中に開学する小林小学校の校章を、当地の特産である「米」を中心にデザイン。米を中心から放射状に配置し、発展する学校の象徴とした。銀色の二重の外輪はそれぞれ大地をうるおす大河、信濃川と中之口川を表わす。

大郷の梨の花と、鷲巻の地名に関係がある鷲の羽根を取り合わせ、全体の形は白根市の市章を表わしている。梨の花の5弁は、大鷲小学校の「大」を表わす。中心の「小」の文字を、両手の掌で包むような形は、2校の睦ましい統合を表わす。



喜びの開校式(小林小学校で)

インタビュー



大鷲小学校 唐沢浅治校長

子供たちは大変喜んでいました。一日も早く新しい校舎に入りたいと思っていたんでしょうね。開校式の時、子供たちは「新しい校舎で一生懸命に勉強します」と、言ってくれました。明るい教室、広い体育館、設備の整った視聴覚教室などで、今、子供たちは生き生きと過ごしています。立派な施設を建ててもらったわけですから、みなさんの期待にこたえるためにも、全職員が一生懸命教育に取り組んでいかなければと感じています。あいさつのきちんと伝える明るい子、たくましい子に育てていきたいと思っています。



小林小学校 鈴木栄佐美校長

とても純朴な子供たちです。いい面を伸ばしていきたいと思っています。反面、意欲的に立ち向かう面が欠けているようなので、積極性を伸ばす環境づくりを心がけていきたいと思っています。地域の期待と信頼にこたえ、新生小林小学校を充実発展させていくため、まず私たち教師が自らを磨き、誠実に実践にあたらなければと考えています。統合校ということでもあり、新しい校風や伝統を作っていくため、いろいろな活動を通してみんなで力を合わせ、心をつなげる機会を作り、明るく生き生きとした学校づくりに努めていきます。



大鷲小学校6年 和田千恵子さん

教室がたくさんあるので、全部を覚えるまで大変でした。広い体育館で思いっきりミニバスケットボールの練習をし、市内大会で優勝したいと思っています。



大鷲小学校5年 早川香織さん

前の学校は全校で九十人ぐらいだったけど、統合してからは三百人以上もいて、とてもにぎやかになりました。屋上にあがると、家がとても小さく見えるんです。



大鷲小学校4年 嶋海 裕くん

きれいな校舎で、うれしいです。体育館は明るくて広いし、それに食堂もあるんだよ。みんなと一緒に食べるのが、とても楽しいです。友だちもたくさんできました。



小林小学校6年 土屋 学くん

広い体育館で、大勢の友だちと遊べるのがいいですね。児童会の会長に選ばれたばかりですが、みんな良い子の学校にしていきたいと思っています。



小林小学校5年 若林秀樹くん

グラウンドが広がったのが、うれしいです。野球クラブに入って広いグラウンドで思いっきり練習します。校舎の中には、いろんな器材があります。



小林小学校4年 矢尾板美穂さん

新しい校舎は、明るい感じがしてとても好きです。食堂で、みんなと一緒に給食を食べることがよかったです。音楽室に新しいオルガンも入りました。